

# 育ちと学びをつなぐ 米子市の幼保小連携・接続の取組

～ 3つの「つなぐ」～



## 【米子市の現状】

- 小学校23校
- 就学前施設87園  
(そのうち、年長児が在籍する56園)

## 【幼保小連携・接続の充実に向けて】

- 施設類型を問わず、幼児教育の質の向上と小学校教育との円滑な接続を図り、接続期の教育を充実させる。
- どこの園に通っていても、どこの小学校に入学しても滑らかな接続ができる体制を整備する。

## 教育をつなぐ

教育課程・教育内容が  
つながる

### スタートカリキュラム研修会

4月上旬に1年生担任を対象に実施。園での育ちを小学校以降の学習や生活につなげるためのスタートカリキュラムの確実な実施を図ることを目的に実施。

## 組織をつなぐ

園・小学校・子ども  
総本部・教育委員会が  
つながる

## 架け橋期のカリキュラム

5歳児の始めから1年生の終わりまで



### 幼稚園・保育所・認定子ども園・ 小学校合同連絡会 (5月)

市内の園長、校長を対象に実施。市の取組や実状について共通理解を図るとともに、校区ごとの取組について協議。86名参加。

課題の共有



### 幼稚園・保育所・認定子ども園・ 合同研修会 (5、6月)

保育士等を対象に連携・接続についてキャリアごとの研修会を実施。

### 幼稚園・保育所・認定子ども園・ 小学校合同研修会 (1月)

市内で先進的な取組を行っている校区の実践の共有や、校区内の縦のつながり、横のつながりを図る。

## 0歳児



## 人をつなぐ

園児・児童・教職員・  
保護者がつながる

園から小学校への  
滑らかな接続に  
向けて

### 1年生アドバイザー活用事業

就学前の支援が就学後も切れ目なく行われるよう、小学校や園を訪問し、学級経営等に関する相談を受け、サポートや助言を行う。

### 切れ目ない支援体制の充実

- 各種引き継ぎシートを活用して引き継ぎを行う。
- 「夏の合同情報交換会」を実施し、園と学校で入学に向けての支援について情報共有を行う。

県幼保小接続推進リーダー育成事業の活用令和3年度から実施し、昨年度からは市と美保中学校区の3校3園がチームとなり実施している。先進的な取組を行い、市全体へ広げていく。

5歳児の  
カリキュラム

スタート  
カリキュラム

## 接続カリキュラム

5歳児の後半から  
1年生1学期の終わりまで

「遊び」を通しての  
学びを

教科等を通しての  
学習へつなぐ

架け橋期の充実が  
それ以降の  
主体的・対話的で  
深い学びの充実につながる

連続性・一貫性のある  
カリキュラム

### 接続カリキュラム作成・実施

※架け橋期のカリキュラムの検討・開発  
校区の「めざす子どもの姿」を共有し、園と学校が子どもの育ちを中心に対話を重ね、ともに作成。  
(※現在、美保中学校区で作成中)

## 義務教育以降

互恵性のある交流

### 園児と児童、園児と園児の交流



給食交流



合同避難訓練



生活科での交流



校区の園児の交流

お互いの保育・教育の理解

### 授業補助体験

入学して間もない4、5月に保育士が1年生学級を訪問し、授業補助を実施。

### 保育体験

夏季休業中に小学校の教職員が園を訪問し、保育体験を実施。

### 小学校オープンスクールの実施

(6月)

全校同日開催となり3年目。年長児の申込率89%、参加率86%  
園児：学校ごっこ、学校探検等  
保護者：現役保護者との交流、1年生アドバイザーによる啓発動画視聴等

